



スピリット 常中魂

平成28年 4月 19日 NO. 7
〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269-2116
FAX029-269-3160
Mail tunezumij@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】



2016/4/19 9:19am

『聴く力』を高める

常澄中学校は「表現力」を高めることを目標としています。そのために、「聴く力」を高めることに取り組んでいます。入学者や卒業生、生徒のスピーチを聴いて、そのレベルを高くするために、授業スタイルを向上させるために、生徒一人一人の表現力を、社会で通用するレベルに高めていくことを目指しています。

その第一歩として、『聴く力』を高めることに重点を置いていきます。左の写真は一年生の理科の学習の様子です。担当の荒川先生が、生徒たちに指示します。「お話しします。ノート記入が終わった人は、先生の方を向きなさい。」この指示によって、ノートの記入が終わった人から順々に、荒川先生の方に

《話は、「耳+目と心」で聴く》
・表現力の育成は、「聴く力」
・学校の安定・クラスの実力アップは「聴く力」の育成から



2016/4/19 9:19am

観察のため理科室を出て、校庭に向かう生徒たち

「表現力」を高めるための、最も大切な基礎中の基礎は、写真のように、話す人に、自分の耳と目と心とを向ける。「聴く姿勢」「聴く心」「聴く力」を培うことにあると常中では考えています。

「教師が説明しながら、生徒にノットさせる」という、教師の都合を優先させるのではなく、時間に余裕をつくり、できる限り「一時に一事」、「説明のみ」とすることが原則です。これにより、「聴く力」を培うことに重点を置きたい」と、考えています。

「先生、早く理科室に戻り、電気も消しました。そして、何ごとも無かったように、友の後を追っていきました。」

「あれ、理科室の電気付けっぱなしじゃないか。」

「うん、消してこよう。」

二人は、足早に理科室に戻り、最後尾の生徒が「わかき」の教室の前にさしかかりました。その時、二人の生徒が「あ、あ、あ」と叫びました。

「先生、早く理科室に戻り、電気も消しました。そして、何ごとも無かったように、友の後を追っていきました。」

「あれ、理科室の電気付けっぱなしじゃないか。」

「うん、消してこよう。」

二人は、足早に理科室に戻り、最後尾の生徒が「わかき」の教室の前にさしかかりました。その時、二人の生徒が「あ、あ、あ」と叫びました。

「先生、早く理科室に戻り、電気も消しました。そして、何ごとも無かったように、友の後を追っていきました。」

「あれ、理科室の電気付けっぱなしじゃないか。」

「うん、消してこよう。」

二人は、足早に理科室に戻り、最後尾の生徒が「わかき」の教室の前にさしかかりました。その時、二人の生徒が「あ、あ、あ」と叫びました。

自主的に電気を消す生徒たち
「聴く力」も準備が整う。



2016/4/19 9:19am

